

越谷市消防署谷中分署建設の概要

1 建設目的 現在の谷中分署は、昭和46年2月に市域西部の消防需要に対応するため開署し、45年以上が経過したことに伴い、建物及び設備の老朽化が進みました。このことにより、大災害時にも対応可能な市民の生命・身体・財産を守る防災拠点施設として十分な耐震性を有する消防庁舎とする必要があることから、建て替えるものです。また、現在の間久里分署の訓練塔は、昭和52年3月に建設され、39年以上が経過し、老朽化が進んでいることや多種多様な災害に対応する訓練を行うことを目的に訓練塔2棟を新たに建設します。

2 場 所 越谷市谷中町四丁目92番1外

3 敷地面積 5,751.66㎡

4 施設の構造及び規模

		構 造	階 数	高 さ	建築面積	延べ面積
1	事務所棟	RC造	2	9.14m	670.34㎡	1,009.35㎡
2	車庫棟	S造	2	7.54m	576.45㎡	674.45㎡
3	訓練塔A棟	RC造	6	21.55m	83.73㎡	333.65㎡
4	訓練塔B棟	RC造	2	8.10m	93.16㎡	163.94㎡
合 計					1,423.68㎡	2,181.39㎡

(1) 事務所棟

1階には、消防職員が迅速に出場できるよう、事務所、仮眠室を配置するとともに、2階には、食堂及び訓練室を配置しています。

(2) 車庫棟

1階には、はしご付消防自動車等を格納するスペースに加え、救急隊が資器材を消毒するスペースや消防活動に必要な資機材を収納するスペースを配置し、2階には車庫内収納スペースを配置しています。

(3) 訓練塔A棟

中高層建物等で発生した災害に対応できるよう、消火・救助訓練を行う施設です。

(4) 訓練塔B棟

専用住宅等の低層住宅で発生した災害に対応できるよう、消火・救助訓練を行う施設です。

5 太陽光発電設備 定格容量20kW（売電なし）

6 施設の主な特徴

- (1) 放水訓練や複数台の消防車両を活用した中継送水訓練をはじめ、消防ホースを延長して行う消防ポンプ操法ができる広い敷地面積を確保しました。(現庁舎の敷地面積の約 3.16 倍)
- (2) 多種多様な災害に対応できるよう消火・救助訓練を行うことができる訓練塔 2 棟を建設しました。
- (3) 環境に配慮し、LED 照明器具や太陽光発電設備を設置しました。
- (4) ユニバーサルデザインを採用するとともに、環境や景観についても自然環境と調和するよう配慮しました。

7 建設予算額

合 計 822,139,200 円 (税込)

* 監理業務委託料、周辺整備工事費は除く。

8 工事期間

平成 28 年度契約締結の日から平成 29 年 7 月 31 日まで

9 消防本部・消防署及び各分署の整備状況

	所在地	構造	建築面積 (㎡)	竣工年月日	供用開始日
			延べ面積 (㎡)		
谷中分署 (車庫兼書庫)	谷中町四丁目 23 番地	鉄筋コンクリート 2 階建	278.75	S46.2.17	S46.2.25
			570.94		
間久里分署 (訓練塔)	大字下間久里 1004 番地 1	鉄骨 2 階建	98.40	H3.1.5	H4.4.1
			196.80		
大相模分署	相模町五丁目 29 番地	鉄筋コンクリート 2 階建	315.84	S52.3.20	S52.3.20
			594.05		
消防本部・消防 署	大沢二丁目 10 番 15 号	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 2 階建	36.37	S52.3.20	
			136.37		
大袋分署	大字大道 329 番地 1	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 2 階建	455.43	S58.11.21	S58.12.1
			757.70		
蒲生分署	大字大道 329 番地 1	鉄筋鉄骨コンクリート 4 階建	1,157.96	H15.3.20	H15.4.1
			3,590.62		
大袋分署	大字大道 329 番地 1	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 2 階建	760.17	H18.2.27	H18.3.1
			1,079.55		
蒲生分署	蒲生寿町 4 番 6 号	鉄筋コンクリート一 部鉄骨造 3 階建	597.98	H22.3.12	H22.4.1
			1,200.77		